令和4年度 No.1

駒岡小学校だより

4月号

「子どもにとって」を全てに

校長　岸田 薫

4月は、花冷えの始まりとなりましたが、体育館の外を飾っていた桜の花びらに代わって、校庭の木々に新しい芽吹きが待ち望まれるところです。いよいよ、令和4年度のスタートです。

私は、中山正之校長の後任として4月1日に駒岡小学校の校長として着任しました、岸田薫（きしだ　かおる）と申します。まちと一体となって子どもたちを育む本校の校風をしっかりと受け継ぎ、「一人ひとりの子どもにとって」を最優先に考え、その子にとって何がいちばん大切なのか、その子にとってどうすることが最善なのかを教育活動の柱に据えて、誠心誠意努力してまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

長く続く「コロナ禍」にあって、今年度も、様々な教育活動の場面で、その在り方を考えたり、制限を強いられたりすることがあると思います。本校では、横浜市教育委員会の「教育活動に関するガイドライン」をベースにし、そこにこれまでに築き上げた本校ならではの経験も生かして、健康的で安全・安心な学校生活が送れるようにしていきたいと考えています。「コロナだからできない」ではなく、「コロナでもできる」ための工夫をたくさん探しながら、全ての子どもに資質・能力を育んでまいります。

本日、120 名の新1年生を迎えることができました。保護者のみなさまに心からお祝いを申し上げます。新1年生の子どもたちにとって、学校は、新鮮でわくわくする場所です。これまでとは、接する人の数も、学ぶ空間も、大きく変わります。毎日が発見と感動の連続です。もちろん、新しい生活に、緊張や不安を感じている子どももいることでしょう。一日も早く学校生活に慣れ、駒岡小学校の児童として、充実した日々を送ることができるよう、全職員で支えてまいります。

また、令和4年度は、全校で765名の児童によるスタートです。児童数減によって、4年生は3クラス編制となりましたが、より多くの友達と関わり合うことができる、学習活動にバリエーションが生まれる、といったプラス面に目を向けて、学年経営を進めてまいります。全ての職員が、全ての児童に関わるつもりで、一人ひとりに寄り添った指導・支援を行っていきますので、何かご心配なことがございましたら、いつでも学校にご相談ください。ご家庭の声をしっかりと受け止めて、共に考えていきたいと思います。

小学校は、6年間かけて、子どもたちを育てていきます。6年後の姿をイメージして、さらにはその先、社会に出ていく子どもたちを思い描きながら、この6年間で、できる限りの力を付けていきたいと考えています。ぜひ、保護者、地域のみなさまにおかれましても、子どもたちの6年間の成長を共に見守り、支えていただければ幸いです。

一年間、これまでと変わらぬご理解・ご協力を賜りますよう、お願いいたします。